

## 技術・製品等に関する情報提供依頼一覧(令和8年2月)

	情報提供を依頼する技術・製品等	背景	技術・製品等に求める内容	参考(NEXCO中日本グループ内での類似製品)
1	災害時に発生した路面の段差を早期に解消する技術・製品	地震などの災害時に発生した道路路面の段差部を解消し、緊急車両等の通行を確保するための応急対応として、土のうを用いたスロープの設置が一般的である。しかし、設置労力や設置後の使用期間に課題があるため、これらを解決できる技術・製品が求められている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①80cm程度までの段差一箇所あたり、4~5人の人力のみで設置可能であること</li> <li>②80cm程度までの段差一箇所あたり、短時間(30分程度以内)で設置可能であること</li> <li>③設置後は大型車(20t程度)の通行が可能で、1ヵ月程度以上使用できること</li> <li>④一製品の保管は小スペース(2m程度以下)であること</li> </ul>	<b>ジオスロープ工法</b> (中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸株)  <a href="https://c-nexco-hmh.jp/wp-content/uploads/2023/05/iioslope.pdf">https://c-nexco-hmh.jp/wp-content/uploads/2023/05/iioslope.pdf</a>
2	鋼部材の一液一層塗りによる簡易防錆処理剤	道路構造物を点検した際に鋼部材に軽微な腐食が確認された場合、あわせて簡易的な防錆処理を施している。しかし、防錆効果が長時間持続しないのが現状である。このため、防錆処理後、次の点検までの5年間、防錆効果が維持できる材料が求められている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施工性・作業性に優れること (刷毛またはスプレーで一液一層塗りで液等の垂れがなく、防食テープ等の巻き付け等を不要とするもの)</li> <li>②施工が環境に左右されないこと(気温2°C以上、湿度が99%以下で施工可能)</li> <li>③軽微な下地処理で10年程度以上の防錆効果を有すること (例:3種ケレンした試験体に施工したものをJIS H8502に基づいて複合サイクル試験で200サイクル実施しても、赤錆・膨れ・剥がれ等が殆どないことが確認できていること)</li> </ul>	<b>ターマラスト</b> (中日本高速技術マーケティング株)  <a href="https://www.c-nexco-tech.co.jp/lineup/file/Tamalast_pamphlet.pdf#view=Fit">https://www.c-nexco-tech.co.jp/lineup/file/Tamalast_pamphlet.pdf#view=Fit</a>
3	簡易に設置、撤去が可能な車線規制材	高速道路上で工事等の作業を行う場合、車線規制材を設置して規制帯を設けるが、作業の近傍では高速の一般車両が走行しており、一般車両が突入した際の作業員の安全確保が課題となっている。そのため、これを防護し、簡易に設置、撤去できる規制材が求められている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①起点・終点どちら側からでも設置・撤去が可能であること また、途中の規制材を容易に中抜きすることが可能であること</li> <li>②1パーティーで1時間あたり40m程度以上設置が可能であること</li> <li>③規制材設置後に規制材同士の連結作業が不要なこと</li> <li>④車両用防護柵種別A種相当であることを確認していること</li> </ul>	<b>SSSガード</b> (中日本高速道路株) 共同開発  <a href="https://www.maruji.com/product_detail/sssguard/">https://www.maruji.com/product_detail/sssguard/</a>